
ASCET V6.1.0

リリースノート

著作権について

本書のデータを ETAS GmbH からの通知なしに変更しないでください。ETAS GmbH は、本書に関してこれ以外の一切の責任を負いかねます。本書に記載されているソフトウェアは、お客様が一般ライセンス契約あるいは単一ライセンスをお持ちの場合に限り使用できます。ご利用および複製はその契約で明記されている場合限り、認められます。

本書のいかなる部分も、ETAS GmbH からの書面による許可を得ずに、複製、転載、伝送、検索システムに格納、あるいは他言語に翻訳することは禁じられています。

© **Copyright** ETAS GmbH, Stuttgart

本書で使用されている製品名および名称は、各社の(登録)商標あるいはブランドです。

目次

1	はじめに	4
1.1	定義と略語	4
1.2	リファレンス	4
1.3	表記について	5
1.4	ユーザードキュメント	5
2	製品概要	6
2.1	使用条件	6
2.1.1	システム要件	6
2.1.2	必要なソフトウェア	6
2.1.3	ASCET リリーステスト環境	6
2.1.4	制限事項	7
2.2	製品構成	7
2.2.1	サードパーティソフトウェアの使用	7
3	本バージョンにおける変更点	10
3.1	前バージョンとの互換性	10
3.2	Windows® 2000 サポートの終了	10
3.3	Type Casting « ASCET legacy (deprecated) »	10
3.4	Project Property « Use Long File Names »	10
3.5	Code Generation options – Constant folding	10
3.6	ASCET Model libraries	10
3.7	AUTOSAR	10
3.8	修正された不具合	11
3.9	ASCET V6.1.0 の Know Issue Reports (KIR)	14
3.10	修正されていない不具合	14
3.10.1	旧 ASCET バージョンにおける Non ANSI-C 準拠について	18
3.10.2	Implicit references のサポートについて	18
3.10.3	XML エクスポート/インポート	18
3.10.4	2 バイト文字サポートについて	18
4	使用上のヒント	19
4.1	リリースノート	19
4.2	XML テクノロジー	19
4.2.1	マイクロソフトインターネットエクスプローラ	19
4.3	XP ファイアウォール	19
4.4	Windows® Vista	19
4.5	Microsoft Studio 2008 Express のインストール	20
4.6	Microsoft Visual Studio C++ V6.0 コンパイラの使用	20
5	サポート窓口	21
5.1	ETAS HQ	21
5.2	ETAS Subsidiaries and Technical Support	21

1 はじめに

ASCET は自動車用組込み制御システムの開発環境です。このドキュメントは ASCET-MD V6.1.0 (ASCET-MD V6.0.1の後継製品) の特徴について説明するものです。その他の ASCET 製品についてはそれぞれのリリースノートをご参照ください。

このリリースノートには以下の情報が含まれます。

- 一般製品情報
- 報告されている不具合

1.1 定義と略語

コード生成

コード生成は物理モデルから実行コードへの変換の第一ステップで、物理モデルが ANCI Cコードへ変換されます。実際に出力される Cコードの内容は、コンパイラやターゲットの種類に応じて異なります。

KIR

Known Issue Report – 製品リリース後に重大な不具合が生じた場合、ETAS では Known Issue Report を発行し、その問題が及ぼす具体的な影響とその対処方法についてお客様に必要な情報をお届けしております。現在発行されている KIR は ETAS のホームページの <http://www.etasgroup.com/kir> からダウンロードしてご覧いただけます。

PR

Problem Report

ターゲット

プログラムや実験を実行するハードウェア (例: MPC5xx)

ASCET-MD

ASCET Modeling and Design

ASCET-MDV

ASCET Model Viewer

ASCET-RP

ASCET Rapid Prototyping – ASCET TIP-Exp (実験ターゲット統合パッケージ) の後継製品

ASCET-SE

ASCET Software Engineering – ASCET TIP for μ Com Targets (マイクロコントローラ用ターゲット統合パッケージ) の後継製品

ファイル拡張子 .amd

XML ベースの ASCET モデル ディスクリプションファイル

ファイル拡張子 .axl

ASCET 用 XML アーカイブファイル

WB

Wolkbck : ASCET のシステムエラー

1.2 リファレンス

[ASW_GS_EN]

ASCET V6.1 入門ガイド

[ASW_RPUG_EN]

ASCET-RP V6.1 ユーザーズ マニュアル

[ASW_SEUG_EN]

ASCET-SE V6.1 ユーザーズ マニュアル

[ASW_DIFFUG_EN]

ASCET-SE V6.1 ユーザーズ ガイド

[ASW_UG_EN]

ハードウェア サービス パック V6.1 ユーザーズ ガイド

1.3 表記について

このドキュメント内では以下のような表記法が使用されています。

File → **Open** を選択します。

メニューコマンド名は、**太字**で表記されます。

OK をクリックします。

ボタン名も**太字**で表記されます。

<ENTER> を押します。

キーボードコマンド名は、<>で囲んで表記されます。

"Open File" ダイアログボックスが表示されます。

プログラムウインドウ、ダイアログボックス等の名称は、""で囲んで表記されます。

setup.exe ファイルを選択してください。

画面上のドロップダウンリストやプログラムコード内の文字、およびパス名やファイル名を表わす文字は Courier フォントで表記されます。

つねに *ディストリビューション* はサンプルポイントの一次元テーブルとなります。

一般的な強調や新語は *イタリック* で表記されます。

1.4 ユーザー ドキュメント

ASCET マニュアル一式(上記"リファレンス"項目を参照)と PDF 版のオンラインヘルプはインストール DVD 内に含まれています。

2 製品概要

ASCET V6.1は、組込み制御システムの制御アルゴリズムの仕様作成と実装を行うための開発環境です。「ASCET V6.1」は ASCET 製品ファミリのベースシステムであるため、必ず最初にインストールし、その後、必要に応じて、ASCET-MD (**M**odeling & **D**esign)、ASCET-RP (**R**apid **P**rototyping)、ASCET-SE (**S**oftware **E**ngineering)を個別にインストールします。またアドオン製品である ASCET-MIP を加えることにより、完全なツールチェーンを形成できます。

2.1 使用条件

2.1.1 システム要件

最低システム要件:

ハードウェア	1.5 GHz PC 1 GB RAM DVD-ROM ドライブ ネットワーク アダプタ グラフィック 解像度 1024x768、32 MB RAM 16bit カラー DirectX7
オペレーティングシステム	Windows® XP(X86) SP2 または Windows® Vista(X86) SP1 以上
空きディスクスペース	3.0 GB (アプリケーションデータ用サイズを除く)

推奨システム要件:

ハードウェア	2.0 GHz PC 2.0 GB RAM DVD-ROM ドライブ ネットワーク アダプタ グラフィック 解像度 1600x1200、128 MB RAM 32bit カラー DirectX7 または上位グラフィック機能
オペレーティングシステム	Windows® XP(X86) SP3
空きディスクスペース	4.0 GB 以上

2.1.2 必要なソフトウェア

ASCET V6.1を実際に使用するには、対応するバージョンの ASCET-MD、ASCET-RP、ASCET-SE のいずれかをインストールする必要があります。これらの製品は、ASCET がインストールされていれば、インストールする組み合わせや順番は問いません。詳細は入門ガイドの「インストール」の項を参照してください。

ASCET のコードプレビューには XML テクノロジーが使用されます。このために必要なソフトウェアのインストールについては、「ヒント」の項目を参照してください。

2.1.3 ASCET リリーステスト環境

ASCET のリリーステストは下記の環境で行われました。

- OS: Windows® XP サービスパック 3(英語、日本語)、Windows® Vista サービスパック 1

- PC ターゲット用コンパイラ: Borland C V4.5、Borland C V5.5、Microsoft Studio 2005 Express
- プロトタイピング用コンパイラ: GNU C Compiler V3.4.4
- μC ターゲット用コンパイラ: Windriver Compiler V5.6.0、Tasking VX C V2.1r1 for C16x

2.1.4 制限事項

ASCET V6.1.0 は Windows7 のサポートはまだしておりません。詳細についてはインストール DVD に収められている CustomerInfo_OS_EN_v7.pdf をご参照ください。

注記(重要)

ASCET V6.1 は Windows® 2000 をサポートしておりません。

2.2 製品構成

ASCET の製品 DVD には、下記のソフトウェア、ドキュメント、ツール、ユーティリティなどのファイルが収められています。

ソフトウェアドキュメントは Adobe PDF フォーマットですので、読むためには Adobe® Acrobat Reader® が必要です。Acrobat Reader® のインストーラも同 DVD に収められています。

ディレクトリ	内容
ASCET V6.1	ASCET ベースシステムインストーラ、リリースノート
ASCET-DIFF V6.1	Model Difference Browser インストーラ
ASCET-MD V6.1	ASCET Modeling & Design インストーラ
ASCET-MDV V6.1	ASCET Model Viewer インストーラ
ASCET-RP V6.1	ASCET Rapid Prototyping インストーラ
ASCET-SE V6.1	ASCET Software Engineering (マイクロコントローラ用)インストーラ
Documentation	ASCET V6.1 ファミリー全製品のドキュメント (PDF フォーマット)
HSP V8.1	Hardware Service Pack V8.1 インストーラ
INTECRIO-ASC V6.1	INTECRIO<->ASCET Connector インストーラ
M2M V2.3	Model2Model Converter インストーラ
Main	製品インストーラ用 HTML
MDA V5.3	MDA V5.3 インストーラ
Support	ETAS カスタマーサポート窓口のご案内
ToolsAndUtilities	<ul style="list-style-type: none"> - CaliberRM インターフェース - Code Coverage Analysis - Postasap - FlexLM ライセンスツール - MSVisualCPP6 コンパイラ - MSVisualCPP2005ExpressEdition コンパイラ - Winroll

2.2.1 サードパーティソフトウェアの使用

ASCET は下記製品を使用しており、それぞれのライセンスに準じてリリースされています。

BOOST

ASCET-RP は C++ の BOOST ライブラリを使用しています。本 BOOST ライブラリは 2003 年 8 月 17 日付けの BOOST ソフトウェアライセンスに基づいてリリースされたものであり、以下の条件において、いかなる人または団体にたいしてライブラリ(ソフトウェア)使用のためのソフトウェア、ドキュメントのコピー、実行、配信、派生ソフトの作成、そしてサードパーティソフトウェアへの実装が無償にて許可されています。

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

CygWin

ASCET は GNU General Public License (GPL) に準じた CygWin のツールセットを使用しています。GPL の規約は下記ファイルで確認することができます。

<InstallDirectory>%Tools%nixbin%ccp_license.txt.

ソースコードと情報は <http://www.cygwin.com/> から入手可能です。ご要求により、使用されている CygWin のソースコードを有償(配送料)にて提供することができます。

EmTex

ASCET は GNU General Public License (GPL) に準じた Tex コンパイラ EmTex を使用しています。GPL の規約は下記ファイルで確認することができます。

<<http://tug.ctan.org>>

GNU Compilers (ASCET-RP のみ)

ASCET-RP は GNU General Public License (GPL) に準じた PowerPC 用コンパイラを使用しています。

GPL の規約は下記ファイルで確認することができます

<InstallDirectory>%Tools%Intecrio%Tools%GNUCompiler-V3.4%V3.4.4-PowerPC%license%

ソースコードと詳細情報については <http://gcc.gnu.org> から入手可能です。ご要求により、送料と引き換えに、ご使用となっている GNU コンパイラのソースコードを ETAS から入手することもできます。

GNU Scientific Library (GSL)

ASCET-MD は GNU General Public License (GPL) に準じた DLL を使用しています。

GPL の規約は下記ファイルで確認することができます

<InstallDirectory>%Tools%unixbin%cpp_license.txt

GNU Make

情報とライセンス規約は下記ファイルで確認することができます。

<InstallDirectory>%Tools%unixbin%gmake_license.txt

Indent

情報とライセンス規約は下記ファイルで確認することができます。

<InstallDirectory>%Tools%unixbin%indent_license.txt.

Info-ZIP

ASCET は Info-ZIP が提供する DLL を使用しています。下記ディレクトリにライセンスファイルが含まれています。

<InstallDirectory>%Tools%InfoZip%unzip%LICENSE

<InstallDirectory>%Tools%InfoZip%zip%LICENSE

libXML

ASCET は MIT ライセンスに準じた GNOME プロジェクトが提供する DLL を使用しています。
<http://www.opensource.org/license/mit-license.html>

Notifu

情報とライセンス規約とソースコードは下記 URL で確認することができます。
<<http://www.paralint.com/projects/notifu/index.html>>

Perl

ASCET は Perl Artistic ライセンスに準じた Perl スクリプト言語を使用しています。

情報は下記ファイルで確認することができます。

<InstallDirectory>%Tools%Perl_Artistic_License.txt.

ソースコードと詳細情報については<http://www.cpan.org/>から入手可能です。ご要求により、送料と引き換えに、ご使用となっている Perl のソースコードを ETAS から入手することもできます。

QNX

ES900 用コード生成用に QNX MOMENTICS END USER LICENSE AGREEMENT に準じた QNX コンパイラが使用されています。情報は下記ファイルで確認することができます。

<InstallDirectory>%Tools%Intecrio%Tools%QNXCompiler-V6.3%license.

Scintilla

情報とライセンス規約は下記ファイルで確認することができます。

<InstallDirectory>%Tools%ScintillaLicense.txt.

SVN (ASCET-SCM のみ)

ASCET-SCM インストール時に SVN(バージョン管理ソフトウェア)がインストールされます。SVN は Apache ライセンスに準じたフリーソフトウェアです。<<http://www.apache.org>>

情報とライセンス規約は下記ファイルで確認することができます。

<InstallDirectory>%SCM%Drivers%ETAS.Subversion%svn%licenses

Template Toolkit (ASCET-SE のみ)

ASCET-SE は GNU General Pulic License (GPL)と Perl Artistic ライセンスに準じた Template Toolkit を使用しています。

GPL: <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php>

Perl Artistic License: <http://www.perl.com/pub/a/language/misc/Artistic.html>

Xerces-C++

情報とライセンス規約は下記ファイルで確認することができます。

<InstallDirectory>%xerces-c%LICENSE.txt

3 本バージョンにおける変更点

詳しい仕様は ASCET V6.1の新機能紹介スライドと各マニュアルをご参照ください。

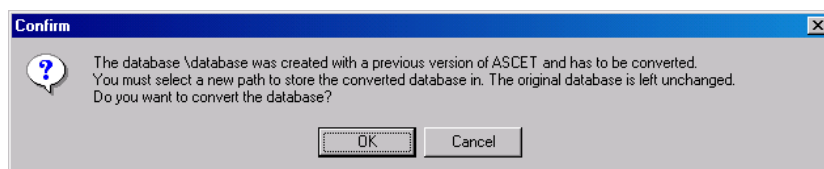
3.1 前バージョンとの互換性

ASCET V6.1.0は、機能的には過去のバージョンに対して上位互換です。相違点(変更点)については、ユーザーズガイドまたは本ドキュメントの該当項目を参照してください。

ただしデータベースの構造の違いにより、読み込みやインポートができるのは、ASCET-SD V4.0以降で作成されたモデルのみです。それより前のバージョンで作成されたモデルは、一度 V4.0以降の ASCET-SD でインポート/エクスポートを行う必要があります。

また、旧バージョン(V4.x)の ASCET-SD で作成されたデータベースをASCET V6.1で開こうとすると、データベースを現バージョンのものに変換するかどうかを確認するダイアログ(下記参照)が開きます。ここで OK ボタンを押すとパス選択ダイアログが開き、変換後のデータベースの保存先を選択できます。ここで指定したフォルダに ASCET V6.x 用に変換された新しいデータベースが保存され、元のデータベースは変更されずにそのまま保持されます。変換後の新しいデータベースは ASCET V6.x でのみ使用でき、旧バージョンでは使用できません。

旧バージョンで作成されたエクスポートファイル(*.exp)についても、同様です。



3.2 Windows® 2000 サポートの終了

ASCET V6.1は、Windows® 2000 のサポートをしておりません。

3.3 Type Casting « ASCET legacy (deprecated) »

ASCET V6.1では全てのターゲットに対し新しく3種類のキャストタイプが追加されています。互換性のため ASCET V6.0.1 まで使用されてきたキャストタイプは“ASCET legacy (deprecated)”として残されていますが、次のバージョンでこのキャストタイプはサポートされなくなる予定です。

3.4 Project Property « Use Long File Names »

Project Property にある“Use Long File Names” は常にセットされた状態で使用されることとなり、ASCET V6.2 の GUI から本オプションは削除される予定です。

3.5 Code Generation options – Constant folding

Code Generation オプションにある Constant folding と operator simplification は常にアクティブとなり、ASCET の GUI から削除されました。

3.6 ASCET Model libraries

ASCET V6.2 からモデルライブラリ SystemLibETAS と MBFS は1つのライブラリに統合される予定です。

3.7 AUTOSAR

ASCET V6.1.0は、AUTOSAR リリース R2.1.4、R3.0.2、R3.0.4、R3.1.0、R3.1.2 に対応しています。

3.8 修正された不具合

V6.0.1で報告された以下の不具合のうち、以下の件がV6.1.0において修正されています。

- PR 49160** **Rounded interpolation does not work**
Calls to interpolation routines on micro controllers are always "linear" and never "rounded", no matter what the configuration in the data set is.
- PR 49883** **Changing the "Inline" flag, have no influence to the CodeGeneration "MAKE" flag**
Changing the "Inline" flag, has no influence to the CodeGeneration "MAKE" flag. Therefore no new code will generated.
- PR 50706** **Beta 61: udisc ist wie sdisc**
Udisc variable may be negative, if the implementation allows it.
- PR 51619** **[A5.0B70]: if esdl is default in statemachine, trigger is not always generated**
In case esdl is the default language for actions and conditions in a statemachine, it could happen that the trigger function is not generated:
just build up a statemachine and don't touch the trigger conditions
- PR 63204** **TI_Cgen_Int_Arith: Overflow at "-2147483648 / -1" causes exception**
-2147483648 / x with x=-1 cause a not limited overflow. A warning during code generation is issued.
- PR 67465** **Recorder/Oscilloscope: Measure channels area not scrollable**
It is not possible to view the full name of the measure channel with the help of the scroll bar. It is only possible to expand the complete window which also expands the measure channel v.
- PR 70624** **TF_BDE_MCD: method arguments vanishing from modell**
- PR 70638** **Parenthization of matrix access is wrong**
The following ESDL code:
z= matrix[log ? x : y][log ? y : x];
z= matrix[x][a = y + 1];
generates this C-Code:
_z = _matrix[((_log) ? _y : _x) + (((_log) ? _x : _y)) * 10];
_z = _matrix[_a = _y + (sint8)1 + (_x) * 10];
The second statement gene
- PR 71407** **Array: Scrolling doesn't work correctly**
If the max size of an array is > 1000 the scrolling doesn't work correctly.
If values > 800 will be selected by scrolling the displayed numbers are "jumping" from 800 to 1....
- PR 73242** **Load Configuration dialog: Wrong date of local Version**
Load Configuration dialog: Wrong date of local Version
- PR 82263** **Primitive failed in: Behavior>>#new: due to Not enough memory**
Sporadic Walkback during automated testing
- PR 84343** **AXL or AMD export leads to WB 'No such file or directory'**
Sporadic Walkback during automated testing
- PR 2007402658** **ASCET-MD V5.2.1: Signalled Trigger aus Mehrrasterdatei funktioniert nicht**
An offline experiment is triggered signalled by an multiple raster mdf file. The triggering is not executed at the time stamps of the mdf file
- PR 2008401058** **Wrong enumeration Impl. Max value is displayed in the implementation tab**
Changed Maxvalue of enum type is not correctly displayed in the implementation tab of enumeration element. The correct enumeration values are used in the C-code and in the experiment.

- PR 2008403824 Print Diagramm leads to black boxes instead of '>' or 'if' logo**
If you print your diagram on a printer or using a pdf printer then you get black blocks instead of the comparator or if icons. Performing an graphical export leads to correct illustration.
- PR 2008404900 Icon editor does not work properly**
If you scaling the x or y size of the icon the change is accepted during typing.
Problem: If you type the first number for e.g. the x size (2), the resolution of the icon will be reduced.
If you type the second number (24) the lower resolution is still valid -> Bug.
- PR 2008405709 ScoopIX: InitValues of logical elements missing**
In the SCOOP-IX description the init value for continuous, unsigned and signed discrete elements of logical elements is missing.
- PR 2008404686 Unimplemented local udisc variable gets an unexpected C type sint8**
If a literal with the value '0' is assigned to a method local variable created as udisc, then the generated code contains a cast to sint8. The udisc variable should be implemented as uint and not sint, ASCET should throw a user notification
- PR 2008405799 ASCET 6.0.1: E.g. CTRL+V (and other shortcuts) does not work under Browse->Implementation widget**
The editing shortcuts do not work in all "Browse" and "Connected Elements" widgets for specification editors
- PR 2009400242 ASCET-Installation may delete content of "C:%Program Files", if "C:%Program Files" is choosen as installation path.**
- PR 2009400256 ASCET-MD V6.0.1: Postfix increment working as prefix increment in implemented while loop**
- PR 2009400811 Missing limiter during sint32 cast**
- PR 2009400967 I/O Error during call of method exportXMLToZipFile()**
- PR 2009401637 ASCET is unable to handle large database (>3.6GB)**
- PR 2009402249 Layout gets lost when importing a class in ASCET V6.0.1**
- PR 2009402313 WB: SGCgMethodAttributes does not understand isCgAttrWrite**
- PR 2009402429 Wrong shifts in combination with big formulas**
- PR 2009402564 WB during signal import: ~arg1='SmallInteger does not understand ,'**
- PR 2009402973 ASCET's "Dependent Parameters" do not work in Labcar Operator**
- PR 2009403068 ERROR in case usage of constants to query enumeration labels in switch-case**
- PR 2009403254 Multiplication is missing in the code**
- PR 2009403259 Implementation reference is cut during amd export**
- PR 2009403280 Import of axl file damages class layout**
- PR 2009403466 ASCET 6.0.1: Walckback while opening C-Code Method**
- PR 2009403574 WB: 'UndefinedObject does not understand <' during codegeneration**
- PR 2009403784 AXL export with schema of V5.2.2 changes the model (pins are missing)**
- PR 2009403917 MISRA Warning because of goto statement in generated code**
- PR 2009404093 DataLogger loses settings and measurements**

- PR 2009404365 Wrong MulShRight service is used**
- PR 2009404896 ASCET PC-simulation of OCL-model gives error**
- PR 2009405690 WB: UndefinedObject does not understand addDefControlSeq:**
- PR 2009405972 ASCET 5.2.2 HF19: with HF19 connection are lost after AXL export**
- PR 2009406400 Deleted Dataset doesn't remain undef, default is used, even if class is under version control**
- PR 2009406428 Different Simulation results in ASCET 6.0.1 and ASCET 5.2.2 for the same converted data base**
- PR 2009406764 Ascet Simulation Problem**
- PR 2010400096 Signals of a mdf file can not be used for stimulation in 1GEE**
- PR 2010400289 Division is missing in the generated code**
- PR 2010400290 Missing limitation before cast to uint8**
- PR 2010400604 enums are changed to INOUT arguments on conversion to ASCET 6**
- PR 2010400628 WB: 'Primitive failed in: EsString>>#memcpyFrom:to:into:startingAt: due to Invalid class in argument 3' during codegen**
- PR 2010400650 Wrong code with mux operator directly connected with a class input**
- PR 2010401097 Arguments are mixed up in generated method (was: SoftSurface Parameter)**
- PR 2010401240 Codegeneration error "ERROR(YBdl81): missing control flow connection ending at sequence call"**
- PR 2010401627 SCOOP-IX: FileOrigin, e.g. for constants, is incorrect**
- PR 2010401874 Inconsistency between "edit max size" and "max x-size" and "x-size" (was: Kennlinie verändert bei PlatformLib Update)**
- PR 2010402368 Problem with the option "Use Power of " and services.ini.**
- PR 2010402630 large enums wrongly generated as uint8**
- PR 2010402694 Data set information and implementations are not updated to the selected data**

上記の件に加え、多数のシステムエラーが修正されました。

3.9 修正された Know Issue Reports (KIR)

本内容についてはインストール DVD に同封の [Known Issue Report ASCET.pdf](#) をご参照ください。

3.10 修正されていない不具合

以下の不具合は、今回のリリースにおいてはまだ修正されていません。

- PR 26715** **Generation of variable names**
There may be conflicts between variable names entered by a user and variable names generated by the system. For example
The variable name `_t1sint32` is also created internally and thus leads to a conflict.
- PR 41554** **Local method-array-variables produce compilation-errors**
To save RAM, several arrays had been changed from local class-variable to local method-variable.
The code-generation of the class delivers errors as the following:
Error: read access to method local variable `<LOC_vWhl>` prior to assignment
- PR 50771** **Overflow not handled for enums as index for arrays.**
If you use an enumeration as the index for an array, and the enumeration has a bigger range than the size of the array, you don't get any warning or error Message during the codegeneration and will certainly get problems during runtime.
- PR 50828** **1GEE Online Experiment: Change measure rate is always grayed out.**
After adding a variable to a measurement window the acquisition rate (alias raster / OS task) cannot be changed later on because the entry in the context menu is always disabled (grayed out).
- PR 52675** **(beta05) Viruell Parameter not calibratable in Offline Simulation**
Virtual variables are calibratable, but
Virtual Parameter are not calibratable in Offline Simulation, see attached example.
=>v_param is defined as Existance: virtuell
=>v_param is defined with Calibration: YES
- PR 54292** **Verwendung von nicht deklarierten Variablen bei Dependend Parametern wird von der Codegenerierung nicht erkannt.**
If you use a not defined variable in the formula fro a dependent parameter,ASCET does not recognize this flaw.
- PR 60781** **ETAS system lib -> getbit: Use of system constants and constants lead to a faulty result**
When using system constants in PC or RP simulation it is necessary to create a codegen.ini file with the option:
resolveSystemConstants= RunTime
in the respective target folder of the ASCET installation.
- PR 62266** **Recorder/Oscilloscope: Measure channels area not scrollable.**
It is not possible to view the full name of the measure channel with the help of the scroll bar. It is only possible to expand the complete window which also expands the measure channel v.
- PR 67994** **Missing calibration entry in the element editor**
The adujstment 'Calibration' can be changed for system constants in the element editor.
This adjustment isn't displayed in the Elements window.

- PR 68383** **Warnungen bei Enumerations in switch-case-Anweisungen**
Enum and udisc are different types and cannot be mixed. However, ASCET allows that certain operators work with enum that should not (between, min, max,...) and the code generator implicitly converts the enum to udisc, because there is no way to convert an enum to a udisc in the block diagram editor. ASCET will not report this warning if only enums are used in the switch (i.e. not mixed with udisc literals etc.).
- PR 68539** **ASCET V5.1: Non ANSI compliant formula name will be converted strangely.**
In the formula editor of a project only formula names which follow the C naming conventions are allowed. If characters which are not allowed are used the characters are automatically replaced by allowed characters.
- PR 68869** **ExperimentOffline: Hierarchy States not correctly reinitialised when Hierarchical CGEN**
In the ASCET offline PC-experiment, hierarchy state variables in State Machines are not reinitialised when "Experiment Stop" and "Reinit Both" is executed. The workaround is, to close and open the experiment whenever a full init is required.
- PR 72459** **DEPENDENT_CHARACTERISTIC**
Negative denominator in the FORMULA should have brackets around the operation.
Negative denominator should have brackets around the operation
e.g.:

```

/begin DEPENDENT_CHARACTERISTIC
(1-X2)/-X1
Ax10.EBV_LVorgabe_.EBD.EbdCscSlipGMA20mx.ABS20.ESP_T20
EBD_aVeh_Fact_10mpass
/end DEPENDENT_CHARACTERISTIC

```
- PR 75149** **Grafical tail-effects when dragging objects**
Using Windows XP with expanded desktop on the second screen, dragging ASCET Objects leads to ugly tail-effects.
- PR 79389** **Documentor: Docu generation not possible under VISTA. An emtex error message occurs for output format PostScript.**
When using the document generation feature "Post Script" on Windows VISTA, the used dvips.exe causes failures. The dvips.exe cannot be executed under non 16bit SW systems.
- PR 82625** **Code generation uses sint32 temp variable cast to uint32 for comparison with uint32 variable**
When a 1 is subtracted from an unsigned value, ASCET has two options: calculate as signed or as unsigned. In the first case, everything above $2^{31}-1$ is cut, in the second case, everything below 0 is cut. The code generator generally prefers the signed variant, but uses the unsigned variant when there is a good reason (e.g. an assignment to an unsigned variable).
The user is notified by an information:
INFO(IIa31): Arithmetic (specified SUB) operation overflows by 1 bits (will be handled by reducing resolution)
To solve the problem, an unsigned variant can be enforced by a implementation cast on the (maximum - 1).
- PR87620** **ImportDirectory: Unexpected CGen errors (missing components, missing formulas)**
The import option "remap oid" does only work for AMD/AXL. When importing a directory each file will be imported separately. There is no possibility to check if items will "overimport" each other.
Therefore it is recommended to import only items of the same type (either .axl/.amd or .exp format) when using the "Import Directory" option.

- PR 90015** **AUTOSAR: Get/Set Methods of Arrays/Matrices in Records not allowed.**
 RECORD component with complex elements (Matrices & Arrays) are not supported in C/S Interfaces.
- PR 90364** **When using two monitors, connections context menu is shown in the false monitor**
 When working with two monitors, the automatic context menus are shown sometimes in the main monitor, and not in the monitor in which the mouse is pointing at.
- PR 90635** **TX_EE: data buffer returned from target has invalid length, the error occurred while retrieving the pseud address for ...**
 ASCET supports only components with a maximum of 999 methods (including direct access methods) when running an experiment on an experimental target.
- PR 90741** **Undefined symbol 'TRUE' in function**
 Affected targets: PC-Experiment
 In former ASCET versions generated code has included the system header file "**windows.h**". All symbols defined there were known to the whole project. Especially defines such as **TRUE**, **FALSE**, **min** or **max** could be used in an ASCET-projects without any further restriction.
 In ASCET V6.1 all unconditional include directives to "**windows.h**" were removed, since the generated code does not use any definitions from there. In general it shouldn't be a problem for any projects. Nevertheless if somewhere in a C-code component, internal or external C-code relies on definitions provided by "**windows.h**", the build of such a project will fail.
 In such a case user can fix this problem in three different ways:
1. Add an include directive to "**a_windows.h**"¹ in his c-code component. This is the best strategy to handle this problem.
 2. Add an include directive to "**a_windows.h**"¹ in "<ASCET-INST-FOLDER>%target%legacy%proj_def.h". The disadvantage of this variant is, that "a_windows.h" will be included for each compilation unit regardless it's required or not.
 3. If only definitions for constants like **TRUE** and **FALSE** are required, the easy way to make them known to the whole project, is defining them directly in "<ASCET-INST-FOLDER>%target%legacy%proj_def.h". e.g.:
- ```
#ifndef FALS
 #define FALSE (0)
#endif #ifndef TRUE
#define
 #define TRUE (!FALSE)
#endif
```
- Note:** don't directly include „windows.h“. Use "a\_windows.h" provided by ASCET in "<ASCET-INST-FOLDER>%target%legacy%pc" instead. The reason for that is: in experimental targets such symbols like: **GetSystemTime**, **calloc**, **malloc** and **free** are used and will collide with definitions in "windows.h".
- PR 93879**      **Blocked use case: "install Ascet as admin and use as standard user without admin rights", leads to several WB, assertion and blocking several functionality**  
 When installing ASCET with full administrator rights, it is necessary to execute ASCET under a user with the same rights.

<sup>1</sup> Note: don't directly include „windows.h“. Use "a\_windows.h" provided by ASCET in "<ASCET-INST-FOLDER>%target%legacy%pc" instead. The reason for that is: in experimental targets such symbols like: **GetSystemTime**, **calloc**, **malloc** and **free** are used and will collide with definitions in "windows.h".



- PR 94449**      **Temporary variable used instead of global variable with same name**  
 Identifier starting with "\_t" are disallowed, as they may cause mismatches in the generated code. ASCET uses the "\_t" pattern for internally generated temporary variables. models. One code generation warning and one info-message have been introduced to notify the user of occurrences of such identifier in the ASCE model.□  
**INFO(IMdl941): Variable name "%1" begins with an underscore may lead to name clashes in the generated code**  
 and  
**WARNING(WMdl941): Variable name "%1" has pattern \_t<n>, where <n> is a decimal number, and is reserved for temporary variables**
- PR 94513**      **WB: endless loop if DB is named "com1" && WB Invalid argumentDocument is empty~Start tag expected, '<' not found~Invalid argument [#2458860001]**  
 When the identifier "com1" or any other by the windows CMD application reserved keyword is being used, ASCET may stall, and has to be terminated in the Windows Task Manager.
- PR 1004096**    **Exit task Inactive Mode is causing Code generation error**  
 A project imported from V6.0.x is causing the error shown in the screenshot. In this project it can only be caused due to the Exit task. Perhaps a line in the release notes could mention the change in behaviour for the the Inactive Mode.
- PR 1004129**    **ASCET V6.1.0 may not open additional windows**  
 ASCET will sometimes not open anymore windows, and doesn't notify the user. This may be caused by Windows, when running out of resource handles for the ASCET application.
- PR 2008404914** **ASCET-MD V5.2.2: Implementation displayed incorrect for imported messages**  
 The properties, data & implementation information shown for imported elements in the browse widgets may be empty, when the component is missing the correct context. E.g. a module component in the component manager shows no information for imported elements, the information is available only, when opened in project context.

### ASCET オブジェクトと生成アイテム用の UTC タイムスタンプ

ASCET V5.2.1 では、内部オブジェクト、および生成されるアイテムに付加されるすべてのタイムスタンプに、UTC タイムスタンプが使用されるようになりました。最新の ASCET と V5.2.1 より前のバージョンの ASCET を使用して同じデータベースを扱う場合、ソースの不整合を防ぐため、ASCET バージョンを 最新に戻すたびにソースをすべて再ビルドすることをお勧めします。

### ビット長

多くのコンパイラがオーバーフローの取り扱いとして 16 ビット演算を使用するため、16 ビットの  $\mu C$  ターゲット用に *maximum bitlength* を 16 ビットに設定することができます。この設定がされていない場合不具合が発生する場合があります。

### コード生成について

プロジェクト全体を完全にビルドする際は、前もって *Clean code generation directory* コマンドを実行しておくことをお勧めします。これを実行しないと、前回の Make 以降の変更点がすべて認識されない場合があります。

周知の不具合に関してはインストール DVD に同封の [Known Issue Report ASCET.pdf](#) をご参照ください。

### 3.10.1 旧 ASCET バージョンにおける Non ANSI-C 準拠について

---

旧 ASCET(ASCET V5.0.0 以前)モデルから移行した場合、ASCET は自動的に non ANSI-C 準拠に切り替わりコード生成を行い、その際の警告が monitor ウィンドウに表示されます。

### 3.10.2 Implicit references のサポートについて

---

ASCET V6.0 ではクラスコンポーネントや 1D/2D テーブルのような複雑なエレメントに対し暗黙な参照の使用を許可し、コード生成時に以下エラーが出力された場合、

**ERROR(WMdl200): deprecated feature: implicit reference of <arcLengthInitial>. Declare an explicit reference instead!**

このエラーを警告レベルに設定変更することができました。

ASCET V6.1 では、このエラーを警告レベルに変更することができないため、暗黙な参照を含むモデルは明確な参照を使用したモデルへ変更する必要があります。(What's new of ASCET V6.1 を参照ください)

### 3.10.3 XML エクスポート／インポート

---

外部で作成または変更された XML ファイルを使用する場合、ASCET コンポーネントとして正しく読み込むためには、ファイルが XML スキーマ(ASCET のインストールディレクトリに保存されています)に準拠していることが重要です。

#### **.axl / .amd ファイルインポート中の ASCET の操作**

---

XML ベースのディスクリプションファイル(.axl と .amd)をインポートしている間、ASCET のユーザーインターフェースを操作することができますが、扱われている ASCET オブジェクトの不整合が発生する可能性があるため、操作は行わないようにしてください。

.axl / .amd ファイルのインポート中は ASCET を操作しないでください。

階層化により 250 文字以上のパス名となる場合、そのような長いパス名を伴う .amd 又は .axl のエクスポート時、名前の解決において Windows® に不具合が生じるため避けてください。時期バージョンの ASCET ではそのような長いパス名を含むファイルはエクスポートできなくなります。

### 3.10.4 2 バイト文字サポートについて

---

ASCET V6.1 は 2 バイト文字をサポートしていません。2 バイト文字を入力できてしまう場合でも、正常動作する保証はできません。コード生成に関する機能に関しては ANSI-C に準拠していない文字(2 バイト文字を含む)には対応していません。

## 4 使用上のヒント

---

ここでは、ASCET を使用する際に役立つヒントをご紹介します。

### 4.1 リリースノート

---

このリリースノートはディレクトリ ETASManuals¥ASCET V6.1 にコピーされます。

### 4.2 XML テクノロジー

---

コードドキュメンタータ(DOCCO)は、XML/XSL テクノロジーを基本としています。XML は異なる種類のデータを保存するための標準ファイルフォーマットで、XSL は XML ファイルの表示方法を定義するスタイルシートフォーマットです。このテクノロジーにより、表示される情報とフォーマットの分離が可能となります。XSL は XSL トランスフォーマーションともよばれ、XML ファイルの内容を他のフォーマットへ変換します。

XML テクノロジーは W3C コンソーシアムによって標準化され、インターネットページなどで幅広く活用されています。詳細については W3C コンソーシアムのホームページ[www.w3c.org](http://www.w3c.org)を参照してください。

DOCCO の出力ファイルは、ASCET の「XML エクスポートフォーマット」とはまったく異なるものです。DOCCO は、生成されたコードについての情報を XML 形式で出力するものですが、「XML エクスポートファイル」は ASCET 専用のエクスポートファイルです。

#### 4.2.1 マイクロソフトインターネットエクスプローラ

---

DOCCO はマイクロソフト インターネットエクスプローラを使用します。他のブラウザの使用はお勧めしません。DOCCO の機能を使用する場合、マイクロソフト インターネットエクスプローラ V6.0r1 以降のバージョンを使用するようにしてください。このバージョンは XSL サポート機能がビルトインされています。最新のインターネットエクスプローラはマイクロソフトのホームページ([www.microsoft.com](http://www.microsoft.com))から無償でダウンロードできます。

### 4.3 XP ファイアウォール

---

Windows® XP を使用する場合、ASCET に対するセキュリティブロックを解除してください。



### 4.4 Windows® Vista

---

ASCET V6.1.0 のリリース時点で Windows® Vista との使用において下記のような不具合があります。

- ASCET は ./program files 以外のフォルダにインストールしなければならない。
- Emtex の DVI コンポーネントである- ポストスクリプトドキュメント生成時 - dvips16.exe がクラッシュする。現在、修復中ですが、この不具合が起こった場合、Hotline へご連絡をお願いします。

- INCA V6.2.0 以降に付属する ETAS ネットワークマネージャを使用した場合、それ以前の古い ETAS ネットワークマネージャ(ASCET V6.0.0 付属など)は作用しなくなります。INCA V6.2.x と ASCET V6.0.0 を併用したい場合 ASCET V6.0.0 のネットワーク設定にも INCA V6.2.x の ETAS ネットワークマネージャを使用するようにしてください。(本不具合は ASCET V6.0.1 で解消されています)

#### 4.5 Microsoft Studio 2008 Express のインストール

---

MS Visual C++ 2008 Express Edition の PC ターゲット用コンパイラを使用する場合、Microsoft のウェブサイトからダウンロードを行い、以下の手順を実行してください。

<http://www.microsoft.com/express/Downloads/>

- C:/Compiler/MS\_VisualC++\_2008 へ Visual C++ Express をインストールする。
- Microsoft Platform SDK をインストールする。インストールは Visual C++ Express の VC ディレクトリにある PlatformSDK に対して行う。
  - 例. C:¥Compiler¥MS\_VisualC++\_2008¥VC¥PlatformSDK (標準インストール時)
- Microsoft Platform SD Lib ディレクトリの uuid.lib を Visual C++ Express Lib ディレクトリへコピーする。
  - 例. copy C:¥Compiler¥MS\_VisualC++\_2008¥VC¥PlatformSDK¥lib¥uuid.lib to  
C:¥Compiler¥MS\_VisualC++\_2008¥lib

MS Visual C++ 2008 Express と SDK を一つの製品としていた以前のバージョンをインストールしている場合、手順 2.)と 3.)が必要となり、記述したインストール手順において、ASCET の makefile は新旧どちらの Microsoft インストールスキーマでも動作します。

MS Visual C++ 2008 Express Edition と Platform SDK を他のディレクトリにインストールする場合、ASCET の makefile を編集する必要があります。

Target¥pc¥trgmake¥settings\_MS\_Visual\_CPP\_2008.mk.

#### 4.6 Microsoft Visual Studio C++ V6.0 コンパイラの使用

---

古い MS Studio Compiler V6.0 と ASCET V6.0 を使用する場合、MSVisual6.acd.xml ファイルを Tools&Utilities ディレクトリからインストールフォルダ¥Tools¥compiler へコピーしてください。これによりプロパティの設定でこのコンパイラを選択できるようになります。

## 5 サポート窓口

---

### 5.1 ETAS HQ

---

ETAS GmbH

Borsigstrasse14

70469 Stuttgart

Germany

Phone:

+49 711 89661-0

Fax:

+49 711 89661-116

WWW:

[www.etas.com](http://www.etas.com)

### 5.2 ETAS Subsidiaries and Technical Support

---

各地域のセールス及びサポート窓口については以下の ETAS ウェブサイトをご参照ください。

ETAS セールス窓口

WWW:

[www.etas.com/en/contact.php](http://www.etas.com/en/contact.php)

ETAS サポート窓口

WWW:

[www.etas.com/en/hotlines.php](http://www.etas.com/en/hotlines.php)